

特集 “秋田駅前 『杉』 PROJECT”

NEWS



SHOJI

秋田駅西口駅前広場バス乗り場の修景整備工事のデザイン案です。

現在は、第1パースのみ、実証実験として杉材による仕上げが施されていますが、一旦解体した後、全4パースに杉材による仕上げを施す予定です。

左右のCGイメージは、秋田市に対する初期のデザイン提案のイメージです。

バス案内所・防風板とともに、10パターン以上のデザイン案を提示しましたが、事務所としては本命は1案。あとは、本命を生かすための、言わば捨てデザインです。

本命とはどれか・・・？

もちろん、SHOJI（障子）です。

木材（秋田杉）の持つ柔らかな表情や、ノスタルジックな雰囲気を演出する方向もよいのですが、さらに一歩進んで、和風をイメージさせながらも、秋田市の最も都市的な景観を持つこの場所に合う表現とはどのようなデザインであるべきなのか？というところからの発想です。

杉の棧の中に乳白のポリカーボネート板を組合せて障子の表現とし、できればバックに照明を仕込めば、夜のバス乗り場に障子が浮かび、秋田駅前の新しい景観になり得るのではないかと考えたのです。

秋田市役所にもそのようなコンセプトで提案し、担当部署レベルではご理解いただきました。

が・・・

当初プロジェクトは我々と担当部署の合意の上で進める予定になっていましたが、秋田駅前という場所柄もあり、プロジェクトの扱いもどんどん大きくなり、パブリックコメントや街頭アンケートなども実施し、最終的に「市長が決める」ということになりました。

市長が決める・・・

多少嫌な予感もあったのですが・・・

さて、どのような結果になったのでしょうか？

あとは、工事の完成をご覧ください。（笑）



SHOJI



SHOJI-2



LOUVER



GRID



第22回秋田の住宅コンクールで、「平鹿の平屋」が優秀賞・秋田魁新報社賞を受賞しました。

2006年 第20回 Kd-House 佳作
2007年 第21回 旭川の家 優秀賞・秋田県建築設計事務所協会長賞

に続き、3年連続で受賞させていただきました。

クライアントはもちろん、施工会社・主催者・審査に関わりました全ての方々に厚く御礼を申し上げます。

なお、入賞作品は、10月12日（日）、秋田拠点センターアルヴェきらめき広場において、展示されます。

2年連続で、最優秀賞・知事賞の該当が無かったのは残念ですが、来年以降、また良い提案ができればと思っています。

本当にありがとうございました。

お知らせ

秋田駅東地区の区画整理事業に伴う入居建物解体により、事務所を移転します。

移転先は、
〒010-0003 秋田市東通3丁目11-52
ロイヤルハイツ城東201です。
現在の事務所から、車で数分です。

電話番号・FAX番号・メールアドレスは変更ありません。

この件につきましては、後ほど、改めてご案内させていただきます。



RANDOM



GRADATION



GRID

スタッフの日常・非日常 vol.05



こんにちは、スタッフの渡部です。

10月吉日、快晴。通勤路にカボチャ発見。でかい。昨冬に秋田駅前にあったやつです。このカボチャ、前衛芸術家の草間彌生さんの作品。で、写真の方が草間さん。とってもファンキーです。なんともすぐ80歳だそう。

この方の作品に良く描かれる模様は、おどろおどろしくもあり、しかしポップな色彩と極限に細やかな水玉の反復で、鮮やかで可愛い。そうした矛盾のような不思議な魅力を感じます。

駅前展示のとき、子供たちがいなくなったスキに中に入り、なかなか面白い空間体験をしました。それが、なぜ今ここに？。

そしてなぜ屋根の上に…。地面に置けばいいのに。

今月のマテリアル



花柄のクロス

通常、居室は白を基調としたシンプルなクロス以外提案することは無いのですが、トイレや洗面・脱衣室などの水回りには、遊び心を持って花柄のクロスを提案することもあります。

これは、教会のトイレのクロスです。天井と壁の上部に使い、壁の下部は柄の無いベース色のものです。淡い花びらが天井から降るイメージです。

こんなのもいいと思いませんか？

編集後記

みなさん、こんにちは。気持ちのよい季節を向かえ、いかがお過ごしでしょうか？私とは言いますと・・・地獄の引越しの真っ最中でございます。（笑）

少しずつやっておけば・・・は毎度のセリフ。準備を始めるや、いきなり佳境を迎えています。さほど広くもないマンションの一角ですが、普段は「見てはいけない・触れてはいけない」場所もあり、そのあたりに手を付けだすと、「うわー、どうするの？こういう物？」という状況になってしまいます。

いつも住宅が竣工すると、当然お客様はお引越しをしようとして新居に入るわけですが、皆さんかなり大変な思いをしているんですね。私たちは「お引越し、大変ですね。」とか「大変でしたね。」と言うだけでですけど・・・。4年前の前の引越の大変さをはっきりと思い出してきました。

しかし、スケジュール的には既に秒読みです。頑張って何とか乗り切りたいと思います。それでは、次回もお楽しみに。



今日の加藤一成

Web Site

- Home トップページ
- Profile プロフィール
- Concept コンセプト
- Service 業務案内
- Works 設計事例
- Conference 無料相談

ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者：加藤 一成

有限会社 加藤一成計画事務所

TEL. 018-831-4315
FAX. 018-831-4316
HP. http://www.lessdesign.jp
BLOG. http://issei-design.cocolog-nifty.com/
MAIL. issei-design@nifty.com